

一 般 質 問 通 告 書

令和5年 北秋田市議会 9月定例会

順位	1-5	質問者	3	虻川 敬	(新創会)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
1. 観光振興について ①伊勢堂岱遺跡関連の観光コンテンツの評価について 1) ジュニアボランティアガイド英語講習委託事業は、具体的にどのようなプログラムで、予算は充分であったか。 2) 当市の外国語対応の現状はどうか。また、ボランティアガイドの実施期間等決まり事があればお知らせいただきたい。 3) 伊勢堂岱遺跡関連の集客状況は。また、経済効果はどう把握し、数値管理しているか。 4) 伊勢堂岱遺跡 360 度VRゴーグルでバーチャル体験をさせるなど、もう一步進んだ改善の必要はないか。また、英語でのスピーチ配信も必要はないか。 ②森吉山エリアの国立・国定公園化について 1) 市の環境省等への要望活動についての進捗状況と今後の課題については。 2) 森吉山エリアの国立国定公園化推進に伴い、市と森吉山に関わる地域諸団体等との取り組みや活動については今後どうあるべきと市では考えているか。また、その考えをどのように各団体に情報伝達しているか。 3) 市民や、地域諸団体等との意見交換会を行うべきと考えるがいかがか。 ③道の駅たかのすについて 1) 本年度に入ってからの実質的な取り組みと、進捗状況は。 2) 完成予定時期、規模などをどのように想定し、また財源根拠をどのように考えているか。 ④観光客や地域住民の移動媒体の確保を目的とし、市単独事業若しくは民間との共同事業にて、空港周辺つまり、大館能代空港、鷹巣駅、道の駅たかのす、伊勢堂岱遺跡縄文館、北欧の杜公園などを範囲とした電動自動車や電動バイク、電動トックトックなどの設置を考えられないか。 ⑤大型の宿泊施設の誘致について、市は現在どのような活動や取り組みをしているか。また、必要性の見解は。							

⑥観光都市宣言をして、本腰を入れて観光都市づくりにかじを切ってはいかがか。

2. 鷹ノ巣駅前の環境美化整備について

①鷹ノ巣駅前の環境整備の必要性はないか

- 1) 市の出資にてお土産等の物販や、飲食、観光案内等できるビルディング等の施設を建設し、テナント誘致等して駅前の賑わいを創出してはいかがか。
- 2) 大型宿泊施設の誘致、拠点施設建設計画や、交通媒体の設置事業計画などの交通拠点整備等を踏まえて「鷹ノ巣駅前都市開発計画」等を作り、計画的に駅前の活性化に向けた取り組みをしてはどうか。
- 3) 鷹巣商店街・銀座通り商店街のアーケード支柱のさび等が目立ってきているが、修繕の必要はないか。

3. 法定外公共物について

①法定外公共物の取り扱いについて

- 1) 法定外公共物の中で青線といわれる部分において受益者負担の考え方について、当局が考える受益者とはどの範囲を指すか。
- 2) 法定外公共物の取り扱いに関する市の条例はどこに記載されているか。
- 3) 青線・赤線等の自然な老朽化、又は災害復旧などによる修繕等事業は、現在、北秋田市では補助事業が存在するが規定の見直しをしてはいかがか。
- 4) 実際受益者が存在しない赤線・青線についての管理は市が維持管理をするのか。
- 5) 法定外公共物に関しての管理規定を明確に制定すべきではないか。

4. 各行事に対する補助金の在り方について

①各事業への補助金の減額の考え方は見直すべきではないか

- 1) 事業費の減額の理由は何か、また減額措置にて何が健全化されると考えているか。
- 2) 国より交付される地方交付税交付金の予算は基本財政需要額－基準財政収入額と理解しているが、実際どのように算定されているか、また地方交付税交付金算定と市のにぎわい創出や活性化などへの補助金等の因果関係はどのようなになっているか。地方交付税交付金の普通交付税額は、自治体を標準的に運営するうえで不足する額となっているが、地域の活性化活動、地域にぎわい創出へ対す

る補助事業は、自治体を標準的に運営することにカウントされるのか。カウントされるのであれば減額すべきではなく、むしろ、今まで以上に増額すべきと考えるがいかがか。

3) 当市のふるさと納税額は14億円を超えてきている。使用用途の1番目には、「健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり事業」とある。それらを地域の賑わい事業の補助金へとあてることの考えはないか。

4) 当市では財政調整基金の積み増しがある現状である。現在まで補助金等支出していたのを減じていながら、財政調整基金は増えていくという構造は不自然に考えるが当局はこの点に関しどう考えているか。

5. 政令・省令の変更に伴う業務について

①法令・政令等の変更に伴いシステム改修費の予算計上が目立つ。財源に問題はないか。

1) システム改修に伴う国庫補助は満額ではなく大体が1/2である。法定受託事務や、政令、省令等の変更に伴う必要経費は国が責任をもって経費負担すべきであり、地方自治体で財源確保しなければならないことではないと考える。地方自治体で経費負担しなければならない理由は何か。

2) この点に関わる国庫補助の増額を今まで以上に国へ要望すべきではないか。

6. 撤去された元町跨線橋について

①撤去された元町跨線橋の再建を検討してはどうか

1) 鷹巣中学校が既存の場所にある限り、以前あった元町跨線橋の場所は通学に対し有利であったと検証する。鷹巣中学校の通学路の在り方を長期スパンで踏まえ再度検討すべきであり、その際、元町跨線橋の場所に以前計画していた歩行者専用の跨線橋ではなくむしろ車両も往来できる跨線橋が必要ではないか。市道として新規建設を考えてはいかがか。

7. 物価高と市民生活について

①物価高騰、エネルギーの高騰が続いている現状、生活保護受給者や、年金生活者は冬の暖房費等に対し不安を抱えている。支援の必要性を感じるが、今年度当局はどのような支援を考えているか。